

成長を実感に！ 改革を貫くのは自民党です

自由民主党政務調査会
会長 中川 昭一

私は自民党の政策責任者として「政調ニュース」を発表し、わが党の重要施策を紹介するとともに、民主党の「マニフェストなるもの」を分析し、批判してきました。

わが党は公約155項目のうち、113項目を「美しい社会と暮らし」と「美しい郷土(ふるさと)」の内容としており、地域や暮らしを最優先で考えています。

一方、民主党がマニフェストの中で前面に打ち出している「3つの約束、7つの提言」は、わが党の政策とほとんど変わらないものもいくつかありますが、そのほとんどは様々なデータを調べても、民主党に直接聞いても、財源が不明瞭であり、不可解かつ実現不可能なものばかりです。

安倍内閣・安倍自民党は、活力ある「地域、仕事、暮らし」が実感できるように、引き続き全力を傾注してまいります。また、過去の年金問題や先般発生した新潟県中越沖地震、食品の安全・安心の回復など、緊急な課題についても、迅速かつ最大限の対応をしているところです。

不安を煽りながら甘い言葉ばかりの民主党か、現実的で国家国民のことを真剣に考えている自民党かをぜひご判断いただきたいと思います。

国民にとって極めて重要な今回の参議院選挙ですが、政党ごとの政策の比較や論争が現在のところ必ずしも充分に行われているとは言えません。私たちはこれからの「暮らし」や「経済」「国のあり方」がどうなって行くのか、最後まで国民に説明し続けて行かなければなりません。

わが党は責任政党として、国民のご批判に対しては率直に反省し、謙虚な姿勢で一步一步確実に前進してまいりたいと考えています。現在の「成長」「活力」の流れをさらに加速するために、わが党の公約をぜひ実現させていただけるよう、国民の皆さまのご理解を心からお願い申し上げます。